

2022年10月19日

報道関係各位

日本の伝統的な『彩』とおくゆかしい美しさ『雅』を色漆で表現！

伝統漆芸 彩雅 万年筆 第2弾  
 創作加賀塗『清雅(みやび)塗』  
 2022年10月29日(土) 全国発売

セーラー万年筆(社長：町克哉、本社：東京都港区)は、「伝統漆芸 彩雅 万年筆」の第2弾となる創作加賀塗「清雅塗」を2022年10月29日(土)よりセーラー万年筆製品取扱販売店にて発売いたします。

◆「彩雅(いろみやび)」シリーズについて

伝統漆芸 彩雅は、日本の伝統的な『彩』と、おくゆかしい美しさ『雅』を色漆で表現した筆記具シリーズです。漆塗りの調度品(漆器)の価値は奈良・平安時代、貴族社会の富の象徴、神仏世界具現の麗美なものとして確立し、それにあわせて色漆も発展していったと言われています。

日本の伝統の美しさや奥深さ、人に潤いと感動を与える「漆(漆器)」ゆえに、ペン軸は色漆で仕上げ、桐箱に名高い真田紐と拘わり、伝統漆芸「彩雅」シリーズと名付けました。

■創作加賀塗『清雅塗』

清雅塗は、漆を刷毛で塗り表面を磨き上げ、さらに絹布を用いて漆を重ねて文様をつけていく新たな技法です。

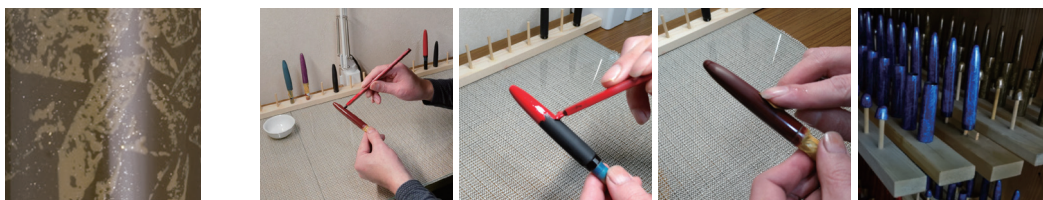
絹布に漆を取り、ゆっくりと染み出させながら撫でることで豊かな表情を造り上げていきます。

文様は、あえてあまり強く浮き上がらせないように、地色漆と特殊な加工の漆を用いて奥ゆかしさをも表現しました。

さらに純金粉と純銀粉を漆の表面に優しく散りばめることで上品な端麗さも兼ね備えた、漆刷毛塗りのみでは表現がかなわない趣のある表情を見せる塗り技法となります。

清雅塗を仕上げた後、漆の乾燥安定の為1ヶ月~2ヶ月の間、室(むろ)で適切に保管した後、製品組立に入ります。

清雅塗



●ラインアップ



深緋

飛鳥時代からの高貴な色。茜と紫を交染する手数のかかる染色法であった。



紺瑠璃

江戸時代に、高貴な瑠璃色がかつた紺色は、暗い紺色に対し輝くように見え流行した。



藍碧

碧は「碧玉」を示し、出雲の玉造石など古代より神秘的な貴石とされていた。



文人茶

明治中期に、詩・書・画など文芸を嗜む文人趣味から生まれた洒落た茶色。

## 21金ペン先



セーラー万年筆独自の技術で成し得た 21 金ペン先。

万年筆のペン先として多く使われている 14 金や 18 金に比べて弾力をもたせており、筆圧が強かかったときでもペン先の切れ込みが開くことなく、インク切れが起こりにくくなります。“しなる”ように紙面を滑り、常に安定したインク供給で“フェザータッチ”とも言われる快適な書き味が楽しめます。

しなやかな書き心地を実現した、万年筆の原点が感じられる逸品です。

## か が ぬ り 加賀塗 (山中塗)

山中漆器は、石川県加賀市の山中温泉地区で生まれた伝統工芸品です。日本の伝統工芸品とも云える生活品の食器などは、古来から木地(椀等)が主流でした。そうした中で山中地区の木地工芸品は国内で類をみないほど名を成していました。江戸時代には山中地区で漆芸品が作られ、木地に漆塗りや蒔絵が施され山中塗(近年、加賀塗とも表現される)が生まれました。現在、数ある国内の漆産地の中でも山中塗は、漆器の特性である堅牢さや優美さを高めながら、他の漆産地でみることのできないほどの数多くの創造性豊かな漆器を造り出しています。

漆芸は、漆の性質上、手仕事作業による熟練した職人技術が必要で、作家活動をする漆芸家にも職人気質が求められる為、創作性が高い漆工芸品も品質が優れたものとなっています。当製品に施されている加賀塗(山中塗)は、加賀市在住の30年近く漆芸に携わっている作家、小林已真氏の作品です。

## 創作漆芸作家 / 小林 已真 作 [こぼやし いさな] (小林 正俊)

プロフィール

石川県加賀市生  
石川県立輪島漆芸技術研修所卒業  
伝統工芸士 角出俊平氏へ弟子入後、  
蒔絵師 小林正男氏へ弟子入  
2007年 小林漆芸工房 代表



カナダ、ケベック博覧会にて作品展示及び蒔絵実演  
ニューヨークにて蒔絵装飾パネルを展示  
2007年、外務省要請、ドミニカ共和国、フェルナンデス  
大統領へ贈呈品の寄贈  
日本工芸会 所属

### 【製品スペック】

品名：伝統漆芸 彩雅 万年筆 創作加賀塗「清雅塗」

希望小売価格：198,000円(本体価格 180,000円)

字幅：中字、太字

ペン先：21金、超大型、バイカラー仕上げ

蓋・胴・蓋栓・大先：エポナイト材、漆塗り

金属部品：金メッキ仕上げ

本体サイズ：φ20×153.3mm(クリップ部含む)、32.0g

パッケージ：桐箱(156×207×49mm)

付属品：桐箱、真田紐、クリーニングクロス、カートリッジ  
インク(ブラック)2本、万年筆用インク吸入器コン  
バーター1個(本体内蔵)、万年筆品質保証、  
取扱説明書、万年筆使用説明書

### 【製品の取り扱いに関する問合せ先】

ユーザーサービス：0120-191-167(フリーダイヤル)

### 《当りリリースに関する問合せ先》

開発本部：03-6670-6605 木村(kimura-a@bungu.sailor.co.jp)

不在時：開発本部 徳増(tokumasu-k@bungu.sailor.co.jp)

※画像のご依頼は、木村(kimura-a@bungu.sailor.co.jp)までお願いいたします。

※当資料は、東商記者クラブに投函しております。

会社概要：セーラー万年筆株式会社(代表取締役社長 町克哉)コード番号 7992 東証スタンダード

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス 10 階

Tel: 03-6670-6601 URL: <https://www.sailor.co.jp>

### 桐箱



桐箱は漆製品の保管に最も適した素材と言われております。  
結紐には千利休も茶道の道具箱に愛用したといわれる  
伸びにくく丈夫な真田紐を使用しております。

以上